

一般社団法人 日本知的障害者チアリーディング協会

2021年度 事業計画書

自 2021年4月1日
至 2022年3月31日

I 基本方針

引き続き予断を許さない新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「新しい生活様式」を実践し、前年度の準備期間を経て、本年度策定した事業計画を実行に移すための年となり、中長期的な施策も必要となる。

意識的に運動・スポーツに取り組むことは、健常者・障害者双方にとって、健康の維持・増進だけでなく、ストレス解消や自己免疫力を高めてウイルス性感染症を予防することにも役立つことから、知的障害者の活動を担う組織として、機能と役割はこれまで以上に重要となり、継続的な事業開催や情報発信について、積極的な施策を講じる。

II 事業計画

本年度は、前年度に精査し、優先順位を付けた中の上位について事業を行う。特に、組織基盤の確立、競技・普及に関わる事業活動に注力する。

<競技>

1. 知的障害者チアリーディング競技を周知する活動

- (1) 知的障害者チアリーディング競技に関する情報・競技規定の制定
- (2) 指導者養成講習会の開催
- (3) 各種講習会の実施準備、開催エリア・方法の選定
- (4) 知的障害者チアリーディング競技認知度の拡大
- (5) 関係団体との情報共有や連携

2. 新型コロナウイルス感染拡大に対する安全対策

本年度も引き続き、状況に応じた安全で具体的な施策を準備し、各地の普及活動も含めたイベントや講習会の実施を通して検討を重ねる。

- (1) イベントや講習会の安全な開催のための、実施基準及び運営マニュアルの掲載
- (2) オンライン講習会等の実施準備
- (3) 状況に応じた実施基準を満たすための安全対策の見直し

<普及>

3. レクリエーション・余暇としてのプログラム作成

- (1) チアリーダー競技団体以外の団体へのアプローチ開始
- (2) 知的障害者のスポーツ活動、レクリエーション・余暇活動での体験会の実施
- (3) 普及プログラムの拡大

<事務局>

4. ガバナンスコードに則した組織体制の検討と整備

- (1) 今年度設置予定の委員会、部会の規程策定
- (2) 協会運営に関わる運営ルールの整備
- (3) 会員登録制度の開始・運用

5. 組織運営等に関する基本計画の策定

- (1) 組織運営に関する中長期基本計画の掲載
- (2) 組織運営の強化に関する人材発掘及び育成に関する体制の充実
- (3) 財務の健全性確保に関する計画の実行

その他、事業について、社会情勢の変化に対応しながら柔軟に実施する。